

平成30年度 第1回鹿島市地域公共交通会議・鹿島市地域公共交通活性化協議会 合同会議

日 時：平成30年6月14日（木）13時30分～15時30分

場 所：鹿島市役所3階 庁議室

参加者：別紙のとおり

司会進行：企画財政課長

1. 開会 企画財政課長

2. 委嘱状の交付

委員を代表して、市区長会代表の力田賢次様へ委嘱状の交付

委員及び事務局について名簿の順に、自己紹介

3. 役員を選出（資料2ページ～7ページ）

要綱及び規約により市長が本会の会長を務める

副会長1名、監事2名については、委員の中からの互選となっており、立候補がなかったため事務局からの提案でよいかを尋ねる

（委員より異議なしの声あり）

委員の任期は2年（平成30年4月～平成32年3月）でもあり、副会長を区長会の力田様、監事を鹿島商工会議所 専務理事 中川様、都市建設課 岩下課長とすることを事務局から提案

（異議なし、承認）

4. 会長のあいさつ（市長、会長）

5. 報告（議長は会長）

（1）これまでの経緯について説明（資料8ページ～9ページ）

（2）市内循環バス及びのりあいタクシーの運行内容について（資料10ページ～11ページ）

（3）乗車数の推移について（資料12ページ～14ページ）

（4）市内循環バスとJR等乗継割引社会実験に関するアンケート報告について（資料15ページ）

【事務局より、報告（1）～（4）について一括して説明】

【質疑・応答】

委員：平成30年4月から高齢者割引や免許返納者への割引など割引施策を実施しているが、高齢者割引で利用された人数、免許返納者割引で利用された人数などは集計されていますか。肌感覚でも良いので教えていただきたいです。

事務局：平成30年4月は学生などの特殊ケースを除き284人、5月は271人利用されていますが、高齢者割引なのか、免許返納割引なのかという区別は、乗務員の方に確認作業をしていただいていますので、今後わかる範囲で研究をしていきたいと考えています。肌感覚としては高齢者の利用がかなり多いように感じます。

委員：75歳以上の高齢者割引対象の方の利用か、75歳以下の高齢者で200円の通常運賃を払って利用する方の利用か、人数のデータは出せますか。

事務局：運賃収入や乗車数から、大よそは割引運賃で利用されたと推測はすることはできますが、割引運賃で乗られたか、通常運賃で乗られたか正確な数字は、運転手の業務増加にもなるため、把握することは難しい状況です。

6. 協議

(1) 市内公共交通路線再編（案）について

【事務局より、協議（1）について説明】

委員：100円というワンコインでのバス利用ということでお客さんにもわかりやすく良いと思います。民間の商店等と協力し、利用促進キャンペーンなどを行うのはどうでしょうか。

事務局：他市町で民間とともに利用促進をしている取り組みもありますので、今後研究し、実施を検討していきたいと考えています。

委員：循環バス時刻表の停留所名に、番号が無いので入れたほうが親切ではないでしょうか。また赤地に青文字など色弱の方にはわかりづらい配色も見受けられますので、今後は配色にも気を遣っていただきたいと思います。

事務局：バス停留所番号については、記載スペースが狭く難しい面もありますが、今後改定する際は番号を入れる方向で検討していきたいと思います。配色につきましても配慮していきたいと考えています。

会長：市内循環バスを200円から100円にすることに伴い運賃収入にはどのような影響がある見込みか、試算などはできていますか。

事務局：これまでは50万円程度の運賃収入がありましたが、4月から高齢者割引等を実施している影響で運賃収入減少の傾向があります。それに加え、全員を100円運賃とするということは、これまで200円払っていた方からの収入も半分となるということになるので、最大の減少幅としてはこれまでの半分程度の25万程度になることも想定しています。利用者が増えることにより増収にもなり得ると思われませんが、やはり減少する可能性が高いと考えており、減収分は委託料で補填する予定です。

会長：鹿島市では、7月から運転免許を自主返納された方へのバス・タクシー共通利用券を発行しますので、その方達が循環バスをご利用いただくことにより増収に寄与する可能性があることをご紹介します。

委員：運行経費はこれまでの実績によって算出されていると思いますが、燃料費、人件費の

増加に伴い運行経費が上がってきており、今後下がることは無いということをご承知置きいただければと思います。

委員：運賃を200円から100円にしたから利用が増えるということになるのでしょうか。

事務局：4月からの状況を見ても運賃が利用に影響しているのは間違いないと思われます。

会長：それでは、協議1についてご了承いただけますでしょうか。

(承認)

会長：ありがとうございました。それでは次の議題の説明をお願いします。

事務局：ご承認いただいた協議(1)の廃止代替バス路線とデマンドタクシーの運行エリアの拡大については、今後地元調整を行い、次回の協議で経過報告をし、また来年2月の協議会で最終的な方向をご提案させていただきたいと考えています。

(2) 生活交通確保維持改善計画(案)について

【事務局より、協議(2)について説明】

会長：協議2については既に議論したものを明文化したものですので、今後当局との調整によって文言等の修正があるかも知れませんが、協議2について概ねこの内容でご了承いただけますでしょうか。

(承認)

会長：ありがとうございました。文言の修正等は今後私どもで実務をしていくうえでお任せいただければと思います。それでは次の議題の説明をお願いします。

(3) 平成31年度事業計画(案)及び予算(案)について

(4) 市内循環バス、高津原のりあいタクシー及び予約型のりあいタクシーの運賃無料期間の実施(案)について

【事務局より、協議(3)～(4)について関連があるので一括して説明】

委員：待合室等改修補助金の募集については、市民も含めて募集をしているのでしょうか。

事務局：一般の方にも申請していただけるものですが、改修後の維持・管理までお願いするものであるため、現実的には交通事業者や、地区や班などからの申請を想定しています。

委員：予算案に待合室改修補助金が歳入として入っていないが、入れる必要があるのではないのでしょうか。

事務局：この待合室等改修補助金事業は市の単独事業で行うものです。再耕庵タクシーが佐賀県の補助金を利用して待合室改修を予定されていますが、これは協議会を通さず直接佐賀県から補助を受けるため、歳入には入れておりません。歳出には待合室改修として50万円計上しております。

委員：平成30年10月1日からの無料運行期間の対象者に高齢者が入っていますが、無料期間中の乗車は乗車率にはカウントされるのでしょうか

事務局：以前は無料運行期間の対象者を限定しておらず、誰でも期間中は無料で乗ることができましたが、乗車率にはカウントされていませんでした。局に確認したところ対象者を限定することにより乗車率にカウントしても差し支えないとの見解でした。よって対象者を限定して無料運行を実施することにしておりますので、65歳以上の高齢者であれば乗車率にはカウントされます。

委員：JRとの乗継割引は継続されるのか。

事務局：現在4月から7月までの期間限定で取り組んでおりますが、これらのデータを分析したうえで今後どう取り組んでいくか、協議会に諮っていきたいと考えております。

委員：県内のバス先進地などで利用促進策など参考になる事例はあったか。料金を半額にするとのことで少なくとも倍以上の乗車数になるように取り組みを進めていただきたい。

事務局：佐賀県とも協力をし、勉強をしていきたいと考えています。

委員：他市町の状況としましては、地域住民の方に直接利用促進の働きかけをしている市町の利用状況が良い傾向があります。基山町は、地区の公民館の集まりなどに職員が出向いて公共交通説明や意見交換などを行っています。また地域住民の方と直接話し、その住民の方がいつも利用するバス停のみに絞った時刻表をカスタマイズしてお渡しするなどの取り組みを今後行う予定もあります。

事務局：他市町の事例なども研究しつつ、利用者を増加させ、減収にならないよう取り組みを進めていきたいと思っています。

委員：肥前鹿島駅がスタートで、肥前鹿島駅まで32分で戻ってくるということをしっかりPRした方が利用につながると思います。

事務局：2便から6便まではルート変更となるため38分となる予定です。PRについては検討していきたいと思っています。

会長：協議3及び4について概ねこの内容でご了承いただけますでしょうか。

(承認)

会長：ありがとうございます。これにて議事は終わります。事務局に進行を戻します。

7. その他

次回開催予定について

次回は平成30年11月に開催を予定しております。

8. 閉会 企画財政課長